

事務事業評価シート1 (一般事業)

1 基本情報

事業番号		0310/450505/07/02	事業の種類	3		
年度	20	事務事業名	救急救命高度化事業	作成日	重要度	5
予算事業名		救急・救助業務経費		担当課名	消防本部 消防課	
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり				
施策名		消防・防災体制	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		消防法、救急救命士法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防職員・救急救命士・医師・市民				
	誰(何)を対象として	消防職員・救急救命士・医師・市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育訓練を実施し、関係機関との連絡調整を図り、スムーズな現場活動をすることにより救命率向上を目指す。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		高度救命訓練。医師の指示体制の構築。				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	救命士養成研修	日	0	0	129	130
	病院実習・研修	日	72	64	201	250
	医師の指示・検証	件	35	25	36	35

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	1.100	0.921	83.7	0.781	84.8	0.790	101.2	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	10,171,434	8,753,206	86.1	7,314,624	83.6	7,425,504	101.5	
	事業費	1,265,520	0	-	3,102,065	-	3,557,000	114.7	
	合計	11,436,954	8,753,206	76.5	10,416,689	119.0	10,982,504	105.4	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	11,436,954	8,753,206	76.5	10,416,689	119.0	10,982,504	105.4	
	合計	11,436,954	8,753,206	76.5	10,416,689	119.0	10,982,504	105.4	

4 評価指標

[有効性]

指標名1		救急研修事業							
指標説明(式)		病院研修回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
回	目標	100	100	100.0	100	100.0	150	150.0	
	実績	73	64	87.7	72	112.5			
指標名2		救急救命士資格取得者							
指標説明(式)		消防職員中での救急救命士数の割合							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
%	目標	25	25	100.0	25	100.0	28	112.0	
	実績	25	25	100.0	25	100.0			

[効率性]

指標名1		救急救命士資格取得、一人当たりのコスト							
指標説明(式)		資格取得経費 ÷ 救命士数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,143,695		-	1,038,308	-	998,409	96.2	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
有効性	期待する目標	認定救急救命士を養成することで、救命率向上を期待する。	5	5
効率性	執行体制の効率性	医療機関との関係を密に取り、救急高度化を図った。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	市民ニーズ	救命率向上を図るには、資格を取得することで終わらず、継続した訓練及び研修が必要である。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	市民ニーズ	救急救命士から認定救命士へと資格を取得することで、市民への救命行為の幅を広げた。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--	--	--



検討の有無	-
総合指標	20